

令和8年度 前期日程
入学者選抜学力検査問題

歴

史

〔注 意〕

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答は必ず別紙の解答用紙の指定された箇所に記入すること。
- 4 解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入すること。
受験番号・氏名が記載されていない答案は無効となる場合がある。
- 5 この冊子の問題は18ページからなっている。
日本史の問題は1～8ページ、解答用紙は1枚、世界史の問題は9～18ページ、解答用紙は1枚である。
- 6 日本史・世界史のうち、いずれか1科目を選択して解答すること。
日本・中国文化学科と国際文化交流学科および和食文化科学科（前期A）受験生は、**1**～**3**のみを解答すること。
歴史学科受験生は、**1**～**4**までを解答すること。
なお総配点は、日本・中国文化学科と国際文化交流学科および和食文化科学科（前期A）は200点、歴史学科は400点である。
- 7 この冊子のうち、落丁・乱丁、印刷不鮮明な箇所があれば、手をあげて申し出ること。
- 8 試験時間中の退室は認めない。
- 9 選択した科目の解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 10 問題および選択しなかった科目の解答用紙は、持ち帰ること。

日 本 史

1 つぎの文章 (A) ~ (D) を読んで、問 1 ~ 問 19 に答えよ。(配点 歴史学科は 120 点、他学科は 60 点)

(A) 律令国家の形成に伴い、古代の日本にも交通路や行政地域が徐々に形成されていく。飛鳥時代までには奈良盆地内に上ツ道、中ツ道、^(a)下ツ道等の官道が整備された。下ツ道は平城京遷都に伴い (ア) と接続し、飛鳥と平城京との連絡路としても機能した。また、遅くとも 8 世紀始めには、畿内と七つの (イ) という全国の広域行政区画が成り立ち、各地に一定規格の官道が敷かれた。これらは長らく主要交通路として機能し、^(b)都へさまざまな物資をもたらした。^(c)

問 1 (ア) には、平城京の中軸に位置する南北の主要道路が入る。その名称を記せ。

問 2 (イ) に入る適切な語句を記せ。

問 3 下線部 (a) について、養老律令を施行した人物の名を記せ。

問 4 下線部 (b) について、全国の官道に置かれ、官人が公用で通行する際に利用された施設の名称を記せ。

問 5 下線部 (c) について、当時の民衆が税を都まで輸送する負担を何と呼ぶか、その名称を記せ。

(B) 10 世紀から 11 世紀の有力武士は、^(d)地方と平安京とを頻繁に行き来し、貴族や朝廷と結びついた。源頼光・頼信の兄弟が藤原兼家・^(e)道長の忠実な部下として仕えたことなどは、よく知られている。一方で彼らは官人としても活動し、時に私財を投じて朝廷に奉仕した。こうした積み重ねが、^(g)後代の武士のさらなる成長に繋がっていった。^(f)

- 問6 下線部(d)について、この時期に強い地方支配の権限を持つようになった、任国に赴任する国司の最上席者の総称を記せ。
- 問7 下線部(e)について、彼が外祖父となった3人の天皇の名をすべて記せ。
- 問8 下線部(f)について、この頃から行われる、私財により朝廷の行事費用や造営費用をまかなった者が、その見返りとして官職を得る仕組みの名称を記せ。
- 問9 下線部(g)について、平氏の勢力がさらに発展するきっかけとなった、皇位継承をめぐり後白河天皇方と崇徳上皇方が衝突した事件の名称を記せ。

(C) 源平の争乱で焼失した奈良の諸寺の復興をきっかけに、美術の諸分野では新しい傾向がおこった。建築の分野では、重源が宋人の陳和卿の協力のもと(ウ)と呼ばれる建築様式を用いて東大寺の再建をおこなった。また鎌倉中期には大陸から禅宗様が伝わり、禅宗寺院において広く採用された。禅宗様建築の代表例としては円覚寺舍利殿がある。絵画の分野では、個人の肖像を写実的に描く似絵のほか、師僧・高僧の肖像画が描かれた。書道の分野では、尊円が宋の書風を取り入れ、新たに(エ)をひらいた。

- 問10 (ウ)に入る適切な語句を記せ。
- 問11 (エ)に入る適切な語句を記せ。
- 問12 下線部(h)について、曹洞禅を日本に伝えた道元の説示を収録したもので、曹洞宗の根本聖典とされる著書の名称を記せ。
- 問13 下線部(i)について、この寺院の開山となった僧の名を記せ。
- 問14 下線部(j)について、禅宗で師が自らの賛を入れて弟子に与えた自身の肖像画のことを何というか、記せ。

(D) 全国支配を強化するため、江戸幕府は、朝廷の統制や西国大名の監視をおこなう (オ) や、大坂・駿府に (カ) と町奉行を、長崎・佐渡・日光などに奉行 (遠国奉行) を置いた。また、幕領 (幕府の直轄領) に (キ) や代官を派遣した。

問15 (オ) に入る適切な役職名を記せ。

問16 (カ) に入る適切な役職名を記せ。

問17 (キ) に入る、10万石以上の広域を担当する代官の役職名を記せ。

問18 下線部 (k) について、日光には、1634 (寛永11) 年から徳川家康をまつる東照宮が建設された。この時期に日光東照宮をはじめ、神社建築でも広く採用された建築様式の名称を何というか、記せ。

問19 下線部 (1) について、1802 (享和2) 年、幕府は北方防備ならびに蝦夷地支配のために蝦夷奉行を置くが、これに先立ち1798 (寛政10) 年からは蝦夷地を調査した。このときに、最上徳内らとともに東蝦夷地の調査を担当し、択捉島に標柱を立てた人物の氏名を記せ。

2 つぎの史料 (A) ~ (D) を読んで、問1 ~ 問18に答えよ。なお、史料は一部書き改めたところがある。

(配点 歴史学科は140点, 他学科は70点)

(A) 日本橋に高札を建らる。その文にいう、近き頃幾度となく所々に名もなき捨て文して、さまざまの事申す者あり。よってこの八月より、月毎の二日、十一日、二十一日、評定所に箱を置く事とさだめらる。〔中略〕ただちに訴うべき旨を、奉行所に申し断り、箱中に投書すべし。

(『徳川実紀』)

問1 下線部(a)を起点に、下諏訪を終点とした五街道のひとつの名称を記せ。

問2 下線部(b)の評定所の構成員である三奉行の役職名を記せ。

問3 この史料に示された施策は、享保の改革の一環として実施されたものである。この施策は何と呼ばれているか、記せ。

問4 この施策によって設立された医療施設の名を記せ。

(B) 菱垣廻船積問屋・十組問屋共

^(c) その方共儀、これまで年々金一万二百両冥加上納いたしきたり^{そうろうところ}候 処、問屋共不正の趣に相聞え候に付、以来上納に及ばず候。もっとも向後^{こうご}仲間株札は^{もちろん}勿論、この外共すべて問屋仲間^{ならび}並に組合などと唱え候儀は相ならず候。

(『徳川禁令考』)

問5 下線部(c)の菱垣廻船は、どの都市間を結ぶ航路であったか、両方の都市名を記せ。

問6 下線部(c)と同じ航路で、後に酒荷を中心に輸送し菱垣廻船と競合する廻船名を記せ。

問7 この法令では何を命じているか、記せ。

問8 この法令の発布など、一連の改革の中心となった老中の姓名を記せ。

(C) (1882年1月4日)

本日別紙の通り、勅諭^(d)これあり^{そうろう}候条、右写相添え、この旨相達し候事。〔中略〕

この十五年が程に陸海軍の制をば今の様に建て定めぬ。それ兵馬の大権は朕が統ぶる所なれば、その司々をこそ臣下には任すなれ。その大綱は朕親^{みづか}らこれをとり、あえて臣下に委^{ゆだ}ぬべきものにあらず、子々孫々に至るまで篤くこの旨を伝え、天子は文武の大権を掌握するの義を存して、再び中世以降の如き失体なからんことを望むなり。朕は汝ら軍人の（ア）なるぞ。されば朕は汝らを股肱^{ここう}と頼み、汝らは朕を頭首と仰ぎてぞ、その親しみは特に深かるべき。〔中略〕

兵力の消長はこれ国運の盛衰なることを弁^{わきま}え、世論^{せいろん}に惑わず、政治にこだわらず、只々一途^{いちず}に己が本分の忠節を守り、義は山嶽よりも重く、死は鴻毛^{こうもう}よりも軽しと覚悟せよ。

〔法令全書〕

問9 （ア）に入る適切な語句を記せ。

問10 下線部(d)について、この勅諭の名称を記せ。

問11 下線部(e)について、この期間になされた軍事上の制度改革の一環である、国民皆兵の方針により、満20歳以上の男性を兵役につかせる法令の名称を記せ。また、同じ時期に、士族反乱や一揆に備えて全国に設けられた組織の名称を記せ。

問12 下線部(f)で示された大権は、その後、大日本帝国憲法にも反映された。この大権は何か、記せ。

問13 この勅諭において、下線部(g)のような態度が望ましいものとして強調された背景には、同時代に広がりを見せたある政治的な運動があった。その運動の名称を記せ。

(D) 朕^(h)ここに緊急の必要ありと認め、枢密顧問⁽ⁱ⁾の諮詢^{しじゅん}を経て、大日本帝国憲法第八条第一項により、金融緊急措置令^(j)を裁可し、これを公布せしむ。

金融緊急措置令

第一条 金融機関は、本令施行の際、現に存する（イ）、その他金融業務上の債務にして、命令をもって定むるもの（以下、封鎖（イ）等と称す）については、〔中略〕その支払いを為すことを得ず。

（『公文類聚』）

問14 （イ）に入る適切な語句を記せ。

問15 下線部(h)の「朕」は誰を指すか、人名を記せ。

問16 下線部(i)は、枢密院の顧問官を指す。史料の内容も踏まえ、枢密院の主要な職務について簡潔に答えよ。

問17 下線部(j)について、この法令の目的を簡潔に記せ。

問18 この法令が出された当時の内閣総理大臣は誰か、人名を記せ。

- 3 第一次世界大戦後から1930年代にかけての東アジアと東南アジアの民族運動について論述せよ。なお、論述するにあたっては、下の語句をすべて使用し、使用した箇所には下線を引いておくこと。(配点 70点)

五・四運動 スカルノ 文化政治 ホー=チ=ミン 民族自決主義

4 歴史学科受験生のみ解答せよ。(配点 70点)

つぎの (A) (B) より, 1 題を選択して論述せよ。解答用紙には選択した問題記号を明記すること。

(A) 承久の乱前後で朝廷と幕府の関係はどのように変化したか, 論述せよ。なお, 論述するにあたっては, 下の語句をすべて使用し, 使用した箇所には下線を引いておくこと。

京都大番役 守護 新補地頭 東国 源頼朝 六波羅探題

(B) 江戸時代の貨幣制度の特徴について, 中世および近代と比較しながら論述せよ。なお, 論述するにあたっては, 下の語句をすべて使用し, 使用した箇所には下線を引いておくこと。

撰銭 寛永通宝 秤量貨幣 新貨条例 藩札 両替商

世 界 史

1 つぎの文章 (A) ～ (G) を読んで、問 1～問25に答えよ。(配点 100点)

(A) 古代ギリシアでは、歴史叙述が発展した。前5世紀のヘロドトスは、ペルシアがギリシアに侵攻した戦争の経過を描き、のちに「歴史の父」と呼ばれた。ヘロドトスを引き継いだトゥキデデスは、自身も参戦したペロポネソス戦争について、その原因や経過を詳述し、冷静に史実の探求と説明を試みた。それゆえ、トゥキデデスの歴史書は、19世紀になってから、近代歴史学の祖と見なされるようになった。

問1 下線部(a)について、この呼び名を最初に用いたのは、『国家論』などの著作で知られる、ローマ共和政期最大の弁論家である。この人物の名を記せ。

問2 下線部(b)について、この戦争でアテネ軍の主力として使われた軍船を一般に何と呼ぶか、漢字で記せ。

問3 下線部(c)について、19世紀に近代歴史学を確立させたのは、ドイツの学者ランケである。ランケの考える近代歴史学とはどういう学問か、簡潔に説明せよ。

(B) 843年、(①) 条約により、フランク王国はカール大帝の孫たちによって3分割された。870年にはさらに、中部フランクの北部が東フランク王国と西フランク王国によって分割され、ドイツ、フランス、イタリアの原型が成立した。中部フランク王国の南部を占めるイタリアでは、早々にカロリング家が断絶し、後に神聖ローマ帝国を称した東フランク王国の介入や、(②) 人の侵入、ムスリムによるシチリア島の征服などを受け、ローマ教皇領や都市国家が分立する状態となった。

問4 (①) に入る適切な語句を記せ。

問5 下線部(d)について、西フランク王国においても、10世紀後半にカロリング家が断絶した。カロリング家の断絶後、フランス国王に選出された人物は誰か、その人名を記せ。

問6 (②) は、東フランクのオットー1世に敗退したのち、パンノニア平原に定住してキリスト教化した民族である。(②) に入る適切な語句を記せ。

問7 下線部(e)について、後にイスラーム文化やビザンツ文化、イタリア文化が融合して、繁栄したシチリア島の中心都市の名前を記せ。

(C) フランスやイギリスなどのアルプス以北の国々では、国王や国家が積極的に文芸を推進した。16世紀前半のフランス国王(③) は、フランスにルネサンス文化を導入することにも熱心であり、息子アンリ2世の妻を、フィレンツェの支配者である(④) 家から迎えた。ルネサンスの万能人(⑤) も晩年(③) に招かれ、フランスで客死している。

問8 フランス国王(③) は、神聖ローマ皇帝位をめぐる争いは、カール5世と対立した。(③) に入る適切な人名を記せ。

問9 (④) に入る適切な語句を記せ。

問10 (⑤) は、「最後の晩餐」などの絵画のほか、科学・建築など諸分野で活躍したフィレンツェ出身の人物である。(⑤) に入る適切な人名を記せ。

(D) 東南アジアのメコン川中流域では、クメール人によってカンボジア(真臘)が起こり、12~13世紀の最盛期には、ヒンドゥー教寺院であるアンコール=ワットや都城(⑥) が建設された。クメール王国はアンコールを中心に、タイ、ラオス、マレー半島北部にいたる広大な地域を結ぶ交通路を支配下に置いた。こうした交易ルートの形成はタイ人の動きを活性化させ、新たな

交易網を形成して、13世紀には、タイ人による最古の王朝である (⑦) 朝が起こった。

問11 下線部(f)について、この寺院を建設した王の名を記せ。

問12 (⑥) に入る適切な語句を記せ。

問13 下線部(g)について、マレー半島やスマトラ島の沿岸には、南シナ海、ジャワ海、インド洋を結ぶ無数の港市国家が成立した。スマトラ島のシュリーヴィジャヤ中心の港市国家連合を引き継ぎ、宋に朝貢して対中国貿易で繁栄した港市国家連合を何と呼ぶか、記せ。

問14 (⑦) に入る適切な語句を記せ。

(E) 13世紀後半、南宋を征服した元(モンゴル)は、海上交易からより多くの利益を得るために、アジア海域へと進出した。ベトナムでは、(⑧) 朝が3度にわたる元軍の侵略をしりぞけた。ベトナムでの敗北後、フビライは反攻の姿勢を示したジャワ島^(h)を攻撃したが、失敗に終わった。しかし、海上交易に積極的であった元は、軍事遠征終了後にも交易活動を進め、13世紀末には東南アジアの多くの地域が元と通交・通商関係をもつようになり、これによって、杭州・泉州などの港市が海上貿易で繁栄した。⁽ⁱ⁾

問15 (⑧) に入る適切な語句を記せ。

問16 下線部(h)について、元の侵略撃退後に成立し、東インドネシア、ジャワ全島からスマトラ島東海岸にも及ぶ、ほぼ現在のインドネシア全域の交易を掌握した王国を何というか、その名を記せ。

問17 下線部(i)について、宋代、泉州などに貿易の管理のために設置された官庁を何というか、記せ。

(F) 宋代以来、長江下流域では、品種改良などによって稲作がさらに発展した。水田に適さない場所では綿花や桑など商品作物の栽培が広がり、明代には、生糸・絹織物・綿織物などの家内制手工業が発達した。稲作の主要産地はやがて長江中流域に移り、^(j)商品作物の栽培や商品生産が盛んな江南地方との間で地域間分業が進んだ。江西省の(⑨)では窯業が盛んとなり、染付や(⑩)などによる繊細な文様の陶磁器が生産され、重要な輸出品となった。都市での商業の発展にともない、商工業者は同郷者や同業者などで互助組織を形成し、都市に(⑪)や公所をつくって活動の拠点とした。

問18 下線部(j)について、明代中頃に長江中流域が穀倉地帯となったことを示すことわざを記せ。

問19 (⑨)に入る適切な語句を記せ。

問20 (⑩)に入る適切な語句を記せ。

問21 (⑪)に入る適切な語句を記せ。

(G) 1683年、台湾の鄭氏政権を降伏させると、清は翌年、海禁を解除して民間貿易を認め、貿易がふたたび活発となった。清からは生糸や陶磁器、茶などが輸出され、大量の外国銀が流入した。民間貿易はヨーロッパ商船にも認められたが、1757年以後、入港地は(⑫)の一港に限定され、特許商人組合である(⑬)を通して貿易が行われた。こうした貿易による銀の流入を背景として、18世紀に地丁銀制が実施された。⁽¹⁾

問22 下線部(k)について、鄭氏はこの地を拠点としていたヨーロッパの国を駆逐した。その国はどこか、国名を記せ。

問23 (⑫)に入る適切な語句を記せ。

問24 (⑬)に入る適切な語句を記せ。

問25 下線部(1)について、この制度の内容を具体的に説明せよ。

2 つぎの文章 (A) ~ (F) を読んで、問1~問20に答えよ。(配点 歴史学科は120点, 他学科は60点)

(A) 4世紀はじめにそれまで中国を統一していた西晋が滅亡すると、華北では匈奴をはじめとする遊牧諸民族などによって建てられた多くの国々が興亡する混乱の時代に入る。5世紀前半にもともと遊牧生活を営んでいた鮮卑の(①)氏が建てた北魏によって、華北が統一されると、5世紀後半の孝文帝のもとで(②)政策が進められるなど、農耕を基盤とする漢人との融和が図られた。北魏は6世紀前半に六鎮の乱をきっかけに分裂、滅亡するが、その後も華北には鮮卑系の北朝が続き、6世紀末、北周の武将であった(③)が隋を建て、南朝を滅ぼして中国をふたたび統一させた。

問1 下線部(a)について、北魏統一までに華北に興亡した国家の総称を記せ。

問2 (①)に入る適切な語句を漢字で記せ。

問3 (②)に入る適切な語句を漢字で記せ。

問4 (③)に入る適切な人名を漢字で記せ。

(B) 遊牧民は軍事活動だけでなく、交易活動も盛んにおこなった。6世紀半ばにモンゴル高原の(④)を倒した突厥や、8世紀半ばに突厥を倒したウイグルは、軍事的優位のもと、中国との(⑤)交易を通じて莫大な利益を得た。ウイグルは安史の乱に介入するなど、唐との関係を深めると、草原に都城を造営して貿易・統治の拠点とした。

問5 (④)に入る適切な語句を漢字で記せ。

問6 (⑤)に入る適切な語句を漢字で記せ。

問7 下線部(b)について、この反乱の中心となった、二人の人物の名前を漢字で記せ。

(C) 宋代に入ると、(⑥) が文化の主な担い手となり、宮廷画家による写実的な院体画に加えて、水墨あるいは淡い色彩で描かれた (⑦) が盛んになった。北宋第8代皇帝であった (⑧) は、文芸を保護するとともに、自らも前者の代表的作品として知られる「桃鳩図」を描き、「風流天子」と称された。

問8 (⑥) に入る適切な語句を漢字で記せ。

問9 (⑦) に入る適切な語句を漢字で記せ。

問10 (⑧) に入る適切な人名を漢字で記せ。

(D) 13世紀末にアナトリア西北部に建国したオスマン帝国は、15世紀はじめ、中央アジアに大帝国を築いた (⑨) 朝にアンカラの戦いで大敗し、一時は滅亡の危機に瀕した。しかしまもなく国力を回復させ、(⑩) 年にコンスタンティノーブルをおとしめてビザンツ帝国を滅ぼすと、この地に遷都した。その後オスマン帝国は北方では、1529年にウィーンを包囲して、ヨーロッパ諸国に大きな脅威を与えた。また南方では1517年、(⑪) 朝を滅ぼして、エジプトを併合した。その結果、オスマン帝国のスルタンは、イスラーム教の両聖都の保護権を得て、スナ派ムスリム全体にたいする指導権を確立した。

問11 (⑨) に入る適切な語句を記せ。

問12 (⑩) に入る適切な数字を記せ。

問13 (⑪) に入る適切な語句を記せ。

問14 下線部(c)について、この語句が示す具体的な都市名を記せ。

(E) スナ派ムスリムを率いたのがオスマン帝国であったのにたいし、シーア派ムスリムの指導的立場となったのは、16世紀はじ

めにイラン高原に成立したサファヴィー朝である。サファヴィー朝は、16世紀末に即位した (⑫) の治世に、最盛期を迎えた。彼は、貿易に強い関心をもち、ペルシア湾のホルムズ島からポルトガル人を追放し、その対岸に新たな港町を開いた。また、新たに都としたイスファハーンには「王のモスク」が建設され、その繁栄ぶりは「世界の半分」とうたわれるほどだった。

問15 下線部(d)について、シーア派とはどのような宗派か、簡潔に説明せよ。

問16 (⑫) に入る適切な人名を記せ。

問17 下線部(e)について、「王のモスク」の現在の呼び名を記せ。

(F) 19世紀のオスマン帝国の弱体化や、領内各地の自立化の動き、それを利用したヨーロッパ諸国の進出は、ムスリムに連帯の必要性を痛感させるようになった。このように、ヨーロッパ進出に対抗してムスリムの連帯を説く思想は、パン=イスラーム主義と呼ばれ、その主唱者は (⑬) である。(⑬) は、イスラーム諸国の自由主義改革やヨーロッパ勢力排除の必要性を各地で説き、実際の政治にも関与した。莫大な債務を抱え、イギリスとフランスの財務管理下に置かれたエジプトで1881年に起こった抵抗運動も、(⑬) の影響を受けている。また同じく財政難に陥っていたイランのカージャール (ガージャール) 朝では、(⑭) を専売制にしてその独占的利権をイギリスに譲渡したために、(⑭) のボイコット運動が1890年代初めに起こった。

問18 (⑬) に入る適切な人名を記せ。

問19 下線部(f)について、この運動の名称を記せ。

問20 (⑭) に入る適切な語句を記せ。

(余 白)

- 3 第一次世界大戦後から1930年代にかけての東アジアと東南アジアの民族運動について論述せよ。なお、論述するにあたっては、下の語句をすべて使用し、使用した箇所には下線を引いておくこと。(配点 歴史学科は60点、他学科は40点)

五・四運動 スカルノ 文化政治 ホー=チ=ミン 民族自決主義

4 歴史学科の受験生のみ解答せよ。(配点 120点)

つぎの (A) (B) (C) より 2 題を選択して論述せよ。解答用紙には選択した問題記号を明記すること。

(A) 12世紀の中国の政治的動向について、論述せよ。なお、論述するにあたっては、下の語句をすべて使用し、使用した箇所には下線を引いておくこと。

岳飛 銀 淮河 完顔阿骨打

(B) イル=ハン国の西アジア支配の展開について、論述せよ。なお、論述するにあたっては、下の語句をすべて使用し、使用した箇所には下線を引いておくこと。

アッバース朝 ガザン=ハン チンギス=カン ホラズム=シャー朝

(C) 19世紀なかばのイタリアの統一過程について、論述せよ。なお、論述するにあたっては、下の語句をすべて使用し、使用した箇所には下線を引いておくこと。

赤シャツ隊 ヴィットーリオ=エマヌエーレ2世 教皇 南チロル